



IMSUT & RCAST GCOE セミナー開催のご案内

豊島久真男先生

東京大学名誉教授(医科学研究所元所長)、大阪大学名誉教授、理化学研究所顧問

がんの基礎研究に携わって (研究の背景とがんの臨床への提言)

日時：2011年 11月 17日(木) 18:00~19:30

場所：東京大学医科学研究所 1号館講堂 (事前参加登録不要)

概要：

医科学研究所の大先輩で、元所長、前制癌研究部教授であられる豊島久真男先生に、先生が一貫して進められ、現在のシグナル伝達研究や癌の分子標的治療の先駆けともなった癌遺伝子に関する壮大なご研究の全貌を、医科研の大学院生、教職員のためにご教示頂きたいと考え、御講演をお願い致しました。

豊島先生は、大阪大学医学部を昭和29年に卒業し、昭和34年大阪大学大学院から医学博士号を取得され、大阪大学微生物病研究所助手、助教授、教授を経て、昭和54年から医科研の教授にご就任されました。そして、平成2年の医科研ご退職、また平成5年の大阪大学微生物病研究所のご退官まで、当時、医学生物学の最もホットな領域であった癌遺伝子研究を世界的にリードされ、数々の優れた成果を挙げられました。すなわち、RNA腫瘍ウイルスであるトリ肉腫ウイルスに癌遺伝子の存在を初めて示した温度感受性株の単離に始まり、癌遺伝子 *yes* の発見、さらに *erbB* や *erbB2/HER2/neu* をはじめとする受容体チロシンキナーゼ型の癌遺伝子群の同定に至り、それらの遺伝子産物による細胞増殖、発癌機構と細胞内シグナル伝達の解明に極めて大きな貢献をなされました。また、昭和62年4月から平成2年3月までは、第19代医科学研究所所長を務められました。医科研ご退職の後も、大阪大学微生物病研究所所長、大阪府立成人病センター総長、住友病院院長、理化学研究所センター長、同顧問などを歴任され、大所、高所から日本の生命科学、医科学をご指導頂き、今日に至っておられます。

今回のご講演では、新しい科学の概念、領域を拓いた輝かしい研究成果のみならず、その背景や基盤となったもの、また医科学全般に対する基礎研究者の取り組みなどについても、数多くの貴重なお話をお伺いできるものと思っております。

医科研の大学院生、研究者、教職員、また豊島先生にご指導を受けた方々をはじめ、学内他部局等より多くの方々のご来聴を期待して居ります。

世話人：清野 宏 (所長)、村上 善則 (総務系副所長)

お問い合わせ先：東京大学医科学研究所 GCOE 推進室 gcoe@ims.u-tokyo.ac.jp TEL:03-6409-2028

港区白金台4-6-1 (東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線白金台駅2番出口から徒歩3分)